

# 会報

No. 74

平成19(2007)年11月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9  
京 都 府 立 図 書 館 内  
TEL (075) 762-4655

## 京丹後市立図書館の取組

『役に立つ図書館』を目指して

京丹後市立図書館長 松岡 豊美

京丹後市は、京都府の中で第一号となった町村合併により、平成十六年四月一日、六つの町（峰山町、大宮町、網野町、丹後町、弥栄町、久美浜町）から一つの市になりました。平成十九年八月一日現在、人口は六三、三二五人、面積は約五〇二平方キロメートルとなっています。

平成十九年九月一日、京丹後市と、府県境を挟んで隣接する兵庫県豊岡市は、図書館等相互利用に関する協定を結び、覚書を締結しました。これによって京丹後市と豊岡市のそれぞれ六つの図書館は、その市の利用者であることを条件に相互に利用できることとなりました。

豊岡市は京丹後市久美浜町から車で十五分程度で到着できるという身近な生活圏内の市であり、昔から人の行き来は



さかんに行われていました。府の行政間では、京丹後市立図書館では、図

は情報の交流は多くはありませんでした。今回の協定については、市レベルで、広域的な連携を強め、丹後・但馬地域の一体的な発展をめざそうということ、昨年度末から、合同会議の開催が実現したことが大きな背景となっています。また、豊岡市立図書館については、すでに他の市や町との相互利用の実績があつたおかげで、急な展開ではありませんが、スムーズに協定が実現したものと感謝している次第です。

豊岡市立図書館は、蔵書数が多いことも魅力であり、求める情報を得る機会や場所が増えるということは大きな意義があるかと思えます。

また、図書館にとつても、先進地の図書館として、図書館システム統合、地域資料の収集、ボランティアの活用などで何度も視察や見学をさせていただいております。今後はより身近な図書館として、多くのことを教えていただけるものと期待しております。

さて、京丹後市立図書館では、図

書館の果たす役割が時代と共に変化しつつある中で、小規模図書館なりの、『役に立つ図書館』として機能することを目指すと同時に、まず地盤をしつかり整えるという目的で、本館と分館の一体となった運営が求められています。そこで、今年度から、①今までは六館別々で行っていた館内整理日に本館毎に集まり、会議や研修等を行う、②定期的に交替で本館・分館の業務にあたり、互いの状況を分かり合う、③年に三回は全体会議と研修を行うなど、正職員三名、臨時・非常勤職員十八名という職員体制の中で可能な限り一体となった図書館運営に取り組んでいきます。

念願叶って図書館業務に就いてから早いもので七年が経過しようとしています。行政の中では目立たない部署ではありますが、図書館ほど職員の工夫や意識によって変わる可能性をもつ、やりがいのある職場は多くはないのではないかと感じています。借りた絵本を大事そうに抱えて帰る親子を見て胸がふるえるほどうれしかった開館当時のことを忘れず、楽しみながら毎日の業務にあたっていきたいと思っております。

新米の館長にみなさまのご指導やご助言をいただきますようどうかよろしく願いたします。

# 「図書館利用促進のための取組について」のアンケート集計結果

★京都府内の図書館等 66 館にアンケートを実施（平成 19 年 8 月）  
（回収率 100%）

## 広報について

**\* 図書館独自の広報誌（紙）等の発行**

- ・ している …………… 40 館
- ・ していない …………… 26 館

**\* 広報誌の内容（「図書館の主な行事」、「新着図書案内」、「図書館カレンダー」以外）**

- ・ 「図書館の利用案内」 ・ 「おすすめ本」 ・ 「人気図書の紹介」
- ・ 「テーマ展示の案内」 ・ 「利用者からのお便り」 ・ 「郷土のはなし」

**\* 対象を限定した広報誌（紙）等の発行**  
（「発行している」と回答した40館のうち）

- ・ している …………… 13 館
- ・ していない …………… 27 館

**\* 広報誌以外での定期的な広報（複数回答可）**

- ・ 市町村広報誌への記事提供 …… 56 館
- ・ 新聞への記事提供 …………… 33 館
- ・ 学校等への記事提供 …………… 4 館
- ・ ホームページへの記事提供 …… 34 館
- ・ その他（フリーペーパー・ケーブルテレビ・ラジオ等） …………… 15 館

**\* 広報誌（紙）の館内以外での配布**  
（「発行している」と回答した40館のうち）

- ・ している …………… 31 館
- ・ していない …………… 9 館

**\* テーマ展示（本の特集展示）の実施**

- ・ している …………… 59 館
- ・ していない …………… 7 館

## 展示について

**\* 展示で特に好評だったテーマ**

- ・ 元気に老いる ・ 和風・日本文化（茶道、和服） ・ 身近な環境 ・ 科学
- ・ 京都おでかけ本 ・ 児童書にみるジェンダー ・ ダンボールアート★

**\* テーマ展示に用意する資料数**  
（「展示をしている」と回答した59館のうち）

- ・ 200冊～100冊 …………… 18 館
- ・ 100冊～ 50冊 …………… 15 館
- ・ 50冊～ …………… 26 館

**\* テーマ展示期間中の展示本の貸出**  
（「展示をしている」と回答した59館のうち）

- ・ する …………… 59 館
- ・ しない …………… 0 館

**\* 外部機関との協力（展示品を借りるなど）**  
（「展示をしている」と回答した59館のうち）

- ・ ある …………… 11 館
- ・ ない …………… 48 館

**\* 参加行事（お話し会以外）**

- ・ おりがみ教室
- ・ 科学教室
- ・ 図書館見学会
- ・ おとなのための「語りを楽しむ会」
- ・ 交通安全のおはなし
- ・ 読書会

**\* テーマ展示以外の展示**

- ・ 表紙をコピーするなどして新着紹介
- ・ ベストリーター
- ・ ブックリスト、推薦図書等の展示
- ・ 地域の「学校だより」を掲示
- ・ 地域の方々（園児、シニアクラブ等）の作品展示

**\* 学校等他機関との連携**

- ・ している★ …………… 52 館
- ・ していない …………… 14 館

**\* 数値目標の設定**

- ・ している …………… 26 館
- ・ していない …………… 40 館

**\* その他、図書館利用促進に向けての取組**

- ・ 調べもの相談専用カウンターの設置
- ・ 「調べものの手引き」の発行
- ・ ミニ演奏会の開催★
- ・ 高齢者・障害者対象資料リストの作成
- ・ 利用者によるおすすめ本の紹介★

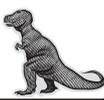
★印は次頁にピックアップ記事！

※スペースの都合上、回答の一部を割愛しています。



**ダンボール  
アートの展示**

宇治田原町立図書館

夏休みの工作の参考に、身近なりサイクル素材である「ダンボール」を利用して作られた三〇点以上の「きょうりゅう」や「どうぶつ」の模型（図書館利用者が作ったもの）を展示コーナーや書棚などに展示。いっしょにダンボールや紙の工作の本や、恐竜・動物の本を展示しました。模型はさわって作り方を確かめたり、遊んだりすることもできましたので、子どもたちに大変好評でした。

多くの貸出があり、普段とは異なる本に多



か、多くの利用者が棚を閲覧し、本が貸出されました。普段、日の目を見ない本も今回、多くの貸出があり、普段とは異なる本に多

**「みなさまのおすすめ本」**

長岡京市立図書館




ページでお知らせをした結果、総数二二九件（一般書一三件、児童書一二六件）の回答がありました。アンケート結果の本の内容は、新旧含め小説や絵本、実用書、ガイドブックなど多岐の分野にわたっていました。それら結果をまとめて、一覧リストにし、さらにそれらの本を別置きにし、「みなさまのおすすめ本」と題し、今年三月～七月中旬まで貸出を始めたところ、同じ利用者のおすすめ本ということもあつて、多くの利用者が棚を閲覧し、本が貸出されました。普段、日の目を見ない本も今回、多くの貸出があり、普段とは異なる本に多

**学校との連携**

くたとえば、学校に  
出向いてのお話し会

綾部市図書館



くの人が接することが出来たのは良かったと思います。おすすめ本の一覧リストを配布しているからか現在でもそれらの本に予約が入るのはとても喜ばしい限りです。

綾部市図書館では、綾部小学校の午後の授業開始前の「輝きタイム」という時間十五分間に綾部市図書館職員が出向き、毎学期、各クラス（二十五クラス）にストーリーテリングをしています。お話の部屋を二教室用意していただき、暗幕を引き、ろうそくの光の中でお話を語ります。平成十三年から現在まで継続中です。

この他に、「ブックトーク」、「幼稚園に出向いての出張おはなし会」、「幼稚園の図書館見学」、「各小学校三年生の社会見学」、「学校への読書指導」、「調べ学習の資料相談、及び提供」、「団体貸出」、「テーマ別リストの原案提供」、「中学校二年生職場体験受入」、「大学生実習生の受入」なども実施し、学校との連携を図っています。職員数は、正職二名、嘱託二名（三・五日）で頑張っています。

**ミニ演奏会の開催**

京都市中央図書館



身近な生涯学習施設である図書館で、多くの市民の皆様が音楽の楽しさを味わっていただくため、京都市中央図書館では、今年八月から「本のもりの小さな音楽会」を開催しています。

少しの間近で楽しんでいただけるよう、一階の幼児コーナーをステージとした約二〇分間のミニ演奏会です。

八月四日に行われた第一回では、元京都市交響楽団の首席奏者である仙崎和男さんのファゴット、呉山平煥さんのオーボエの演奏などが行われ、親子連れや年配の方など一〇〇人以上の方がプロの演奏を楽しみました。



毎月一回、第一土曜日に行うこの演奏会が、図書館に親しんでいただく機会になることを願っています。

# 第十六回 京都図書館大会報告

第十六回京都図書館大会が、一九九名の参加を得て、「インターネットでレファレンス」をテーマに去る九月五日（水）に同志社大学明徳館M1教室で開催されました。

午前は、昭和女子大学大学院生活機構研究科、人間社会学部教授の大串夏身氏から、「インターネットを使ったレファレンス」と題して基調講演がありました。

大串氏は、目的に応じて検索できるサイトやデータベースを紹介しながら、より効果的に情報を探索する方法をわかりやすく解説されました。

また、今後は、職員の検索技術の向上だけではなく、「調べ方の説明」を作成するなど、利用者が調べる際にそういったものを利用できるしくみをつくるのが大切であると説明されました。

午後は、レファレンス協同データベース及びパスファインダーの活用方法などについて事例を交えた報告がありました。

国立国会図書館関西館司書の藤河正憲氏、三重大学学術情報部情報図書館チーム情報リテラシー担当チーム員の柴田佳寿江氏、福井県立図書館司書の宮川陽子氏、京都府立山城高等学校学

校図書館司書の堀奈津子氏の各氏から、レファレンス協同データベースは、単にレファレンスの情報源としての利用のほかにレファレンスのスキルアップ・研修にも利用することができるとの報告がありました。

また、パスファインダーは、課題解決能力・メディア活用能力の向上や自館の蔵書の確認ができる等の効果がある。学校図書館では、パスファインダーの活用によって自分が読みたい本が図書館にあることやその他いろいろな本があることに気づいたという声もある等の事例が報告されました。

終了後のアンケートからは、「各図書館で様々な努力をされていることを自館へ持ち帰って活かしたい」など一様にレファレンスのスキルアップへの意欲向上がみられ、今後に活かせる内容の大会となりました。

## ★専門委員会二ニュース★

### ◎研修研究委員会

六月二十九日の第一回委員会の協議に基づき、各ブロックで実務研修会の開催に向け取り組んでいます。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

### 北部会場

（読書ボランティア養成支援事業）

平成十九年十二月二日（日）

十三時三十分～十六時

場所 みやび歴史の館 大会議室

講師 永崎 みさと氏

テーマ 「ステップアップおはな

し会く小道具で広がるおはなしの世界」

内容 実演を含めた講演、おはな

し会に役立つ小道具作り

### 南部会場

テーマ・内容等検討中

### ◇中部地区実務研修会の報告

十月十八日（木）に京都国際マンガミュージアムにおいて「マンガ文化について」をテーマに開催され、三十八名の参加者は実際に紙芝居の実演等を見学し、子どもたちを話に引き付けるポイントなどの実務的な質問が出されました。

また、特別展「マンガでよむ京都」では、マンガを通して楽しく京都の歴史にふれることができ、参加者は熱心に見学していました。

### ◎相互協力委員会

平成十九年度第一回相互協力委員会の開催を十一月八日（木）に予定しています。また、今後の日程については、来年二月に実務担当者会議を開催する予定です。

### ◎広報委員会

平成十九年度の第二回広報委員会を、九月六日（木）に京都府立図書館で開催し、会報七十四号の編集等について協議を行いました。

## 編集子

図書館利用促進のためのアンケートにご協力いただきました。誠にありがとうございました。今回は、アンケート集計結果を中心に掲載しております。どの図書館においても、創意工夫され、利用促進を図られている姿がアンケート結果から見てとれます。今後の参考になればと広報委員一同願っております。

### 編集部注

第一回相互協力委員会は原稿締切の都合上、開催前の内容となっております。

